

平成 26 年度のごみ処理状況

平成 26 年度における、2 町（安平町・厚真町）の皆さんが出されたごみの排出量やリサイクルの状況、ごみ処理にかかった経費をお知らせします。



ごみの排出量

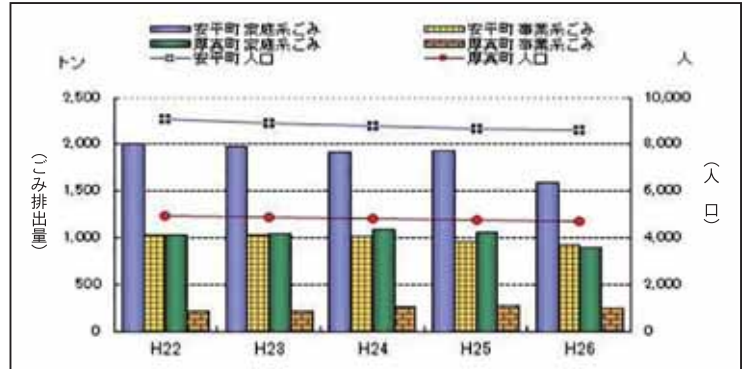
3,656t（平成 26 年度総排出量 対 25 年度比 569 トン減少）

安平町・厚真町における過去 5 年間の家庭系及び事業系のごみ排出量と人口の推移はグラフ 1 のとおりです。

平成 26 年度は前年度と比べ、総排出量で 569 トン減少しました。

平成 25 年 7 月より家庭ごみ有料化が開始され、直前の 6 月までは『もやせるごみ』『もやせないごみ』が前年比で大幅に増加しましたが、以降は皆様のご協力により、前年比で『もやせるごみ』が約 17%、『もやせないごみ』が約 31%減少し、年度計では約 13%減少しました。

グラフ 1 ごみ排出量・人口推移



	安平町			厚真町		
	家庭系ごみ	事業系ごみ	人口	家庭系ごみ	事業系ごみ	人口
H22	1,998 ト	1,029 ト	9,059 人	1,035 ト	208 ト	4,929 人
H23	1,979 ト	1,030 ト	8,911 人	1,049 ト	221 ト	4,874 人
H24	1,915 ト	1,008 ト	8,810 人	1,082 ト	265 ト	4,819 人
H25	1,935 ト	957 ト	8,679 人	1,065 ト	268 ト	4,741 人
H26	1,587 ト	929 ト	8,581 人	899 ト	241 ト	4,708 人



資源化の推移

排出されるごみのうち、資源化される割合をリサイクル率と定め、平成 26 年度のリサイクル率は 31.2%で、内訳は右表のとおりです。

平成 25 年 7 月からの有料化とともに紙類・せん定枝の収集が始まり、『もやせるごみ』や『もやせないごみ』から資源回収への移行が進んだ結果がリサイクル率の増加に表れています。

リサイクルすることは、限りある資源を有効に活用するとともに、経費の節減にもなりますので、引き続き資源化の取組みにご協力をお願いします。

(単位：トン)

	H22	H23	H24	H25	H26
鉄 屑	81	86	98	128	51
紙 パック	2	2	2	3	3
ペットボトル	48	46	37	33	39
びん	112	103	104	92	101
缶	93	98	88	99	74
生ごみ堆肥化	200	193	183	179	171
古紙類	479	587	559	718	508
プラスチック	85	161	168	190	194
小型電子・電気機器		4	10	10	6
紙類				94	139
せん定枝				12	12
リサイクル率 (%)	23.2	26.3	25.8	31.5	31.2



ごみの処理経費

平成 26 年度のごみ処理経費の総額は、233,238 千円で内訳はグラフ 2 のとおりです。

ごみの収集運搬経費、ごみの焼却・埋立・資源化などを行うごみ処理経費、組合の処理場の維持管理経費及び人件費等が直接ごみ処理に要した経費で、ごみ 1 トンあたり約 64 千円、住民一人あたりで計算すると、約 18 千円となります。

グラフ 2 平成 26 年度ごみ処理経費の内訳

